

学年

教科等

単元等

活用アプリ

中1

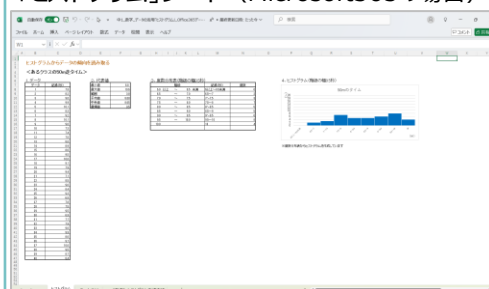
数学

データの活用「ヒストグラム」

表計算ソフト  
プレゼンテーションソフト授業  
内容

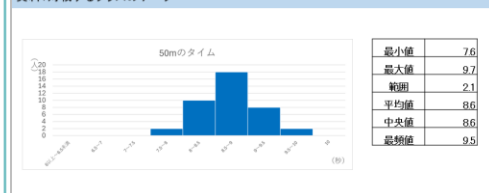
データを分析して戦略を立て、根拠を明らかにして説明しよう

「ヒストグラム」シート（Microsoft365の場合）

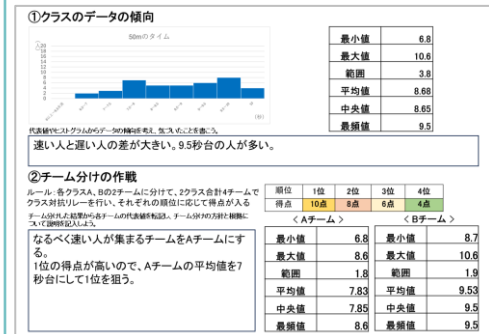


対戦するクラスのデータ

資料：対戦するクラスのデータ



ワークシート（入力例）



Microsoft 365は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

株式会社ベネッセコーポレーション

準備：

- ・データ用（表計算ソフトのファイル）、ワークシート用（プレゼンテーションソフトのファイル）を準備する。
- ・データ用とワークシート用のファイルを課題として子供たちにコピーを配付する。

授業の流れ：

1. 各自データ用ファイルを開き、「あるクラスの50m走タイム」のデータを見て、代表値やヒストグラムからデータの傾向を考える。
2. 各自ワークシート用ファイルを開き、【①クラスのデータの傾向】に1で考えて気づいたことを記入する。
3. 気づいたことを全体で伝え合い、データの傾向について確認する。
4. 下記の前提をふまえ、各自方針を決めた上でクラス対抗リレーに向けたチーム分けをする。

- ・各クラスA、Bの2チームに分けて、2クラス合計4チームでクラス対抗リレーを行う
- ・順位に応じて得点が入る
- ・対戦するクラスのデータを分析して、クラスの合計得点が高くなるようにする

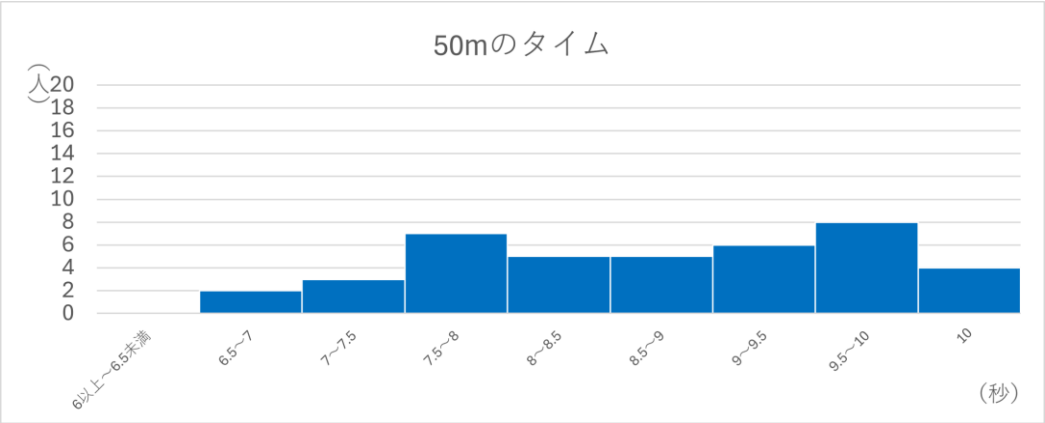
データ用ファイルのチーム分けシートにA、Bを入力して各チームの代表値を確認する。ワークシート用ファイルの【②チーム分けの作戦】に各チームの代表値を転記し、チーム分けの方針と根拠について説明を記入する。

5. 班でチーム分けの方針を紹介しあい、話し合って班の方針を決める。
6. 全体で班の分け方の方針と着眼点とした代表値、及びその根拠を発表する。

サポータ  
おすすめ  
ポイント

- ・チーム分けの操作をしながら代表値が変化することを確認でき、代表値の理解を深めることができます。
- ・対戦するクラスは50m走タイムの平均が速いため、データを読み解いて作戦を立てることが必要になります。

# ①クラスのデータの傾向



代表値やヒストグラムからデータの傾向を考え、気づいたことを書こう。

速い人と遅い人の差が大きい。9.5秒台の人が多い。

最小値	6.8
最大値	10.6
範囲	3.8
平均値	8.68
中央値	8.65
最頻値	9.5

# ②チーム分けの作戦

ルール：各クラスA、Bの2チームに分けて、2クラス合計4チームでクラス対抗リレーを行い、それぞれの順位に応じて得点が入る

チーム分けした結果から各チームの代表値を転記し、チーム分けの方針と根拠について説明を記入しよう。

なるべく速い人が集まるチームをAチームにする。  
1位の得点が高いので、Aチームの平均値を7秒台にして1位を狙う。

順位	1位	2位	3位	4位
得点	10点	8点	6点	4点

＜ Aチーム ＞

最小値	6.8
最大値	8.6
範囲	1.8
平均値	7.83
中央値	7.85
最頻値	8.6

＜ Bチーム ＞

最小値	8.7
最大値	10.6
範囲	1.9
平均値	9.53
中央値	9.5
最頻値	9.5